臨時国会 大きな問題点残して閉会
憲法改悪 成し遂げたいと強調

異例づくめで強引に閉幕した臨時国会は、大きな問題点を残しました。

第1は安倍首相主催の「桜を見る会」をめぐる疑惑です。

共産党の宮本議員が招待者名簿はじめ、資料の開示要求をした日に全ての資料を廃棄してしまいました。さらに許せないことはシュレッターで廃棄したのは「障害者雇用の職員」と、安倍首相が国会で答弁したことです。

弱い立場にある障害者に責任を押し付けた釈明に、各方面から強い怒りの声が出されています。

首相地元・山口から800人も支援者を招待し、前夜に一流ホテルで格安会費の夕食会を開きました。

これは公選法や政治資金規正法違反の疑いが出ています。首相・昭恵夫人が千人、自民党6千人の招待枠は、党利党略・税金の私物化に外なりません。

野党が一致して求めた予算委員会開催や会期延長なども、すべて拒否し、国会で何一つ解明しませんでした。

第4次安倍改造内閣発足一ヶ月半で、菅原経済産業相・河井法務相の重要閣僚が、いずれも公選法違反疑惑で辞任しました。

首相は「任命責任は私にある」と言いますが、事実関係は明らかにされていません。

説明責任を果たせない首相は、その任に相応しくなく首相をやめるべきです。

共同通信が実施した12月の世論調査によると、「桜を見る会の説明は不十分」は83%におよび、内閣不支持率は5ポイント増え43%となり、支持率を逆転させています。

一方、国会閉幕の首相会見で「憲法改正を必ずや私の手で成し遂げたい」と強調しました。とんでもありません。

首相や国会議員に課せられているのは、憲法を尊重し擁護する義務です。

世論調査でも7割の人が改憲論議を急ぐ必要はないとしています。

安倍首相の改憲策動を阻止するため、年明けから国民運動を展開しましょう。

国会で追及する
田村智子議員

「SDGs」・「ジェンダー平等」

最近SDGSという英文字を新聞・雑誌などで目にします。

頭文字はすぐには理解できませんが、なぜ今盛んに言われているのか調べてみました。

近年の地球環境の変化による危機感と、人道的弊害がもたらす現実をみた時、世界規模で取り組まなければならないと国連が目標を定めたからです。

貧困・飢餓、健康、教育、性の平等、水、電気の普及、労働力確保、道路等の産業、住の確保、気候変動、海洋汚染、森林の維持、平和と公正、など、17の国際目標を2030年までに達成させようと国連総会で採択されたのです。

1993カ国の全会一致での採択でした。

地球上のすべての人々が「世界を変える」と言う高い目標に向け、自分たちにできることから始めようと動き出しているのです。

新日本婦人の会やJA女性組織、生協などあらゆる分野で徐々に取り組みはじめています。

ゴミを減らし、綺麗な水を大切にし、環境について考えることは私たちにもできることです また同時に、すべての人が憲法で保障されている人権や男女の平等について真剣に考える時でもあります。

男女共同参画社会と盛んに言われながら政治、経済、教育の分野でなかなか男女格差が埋まらない日本の現状は、世界から遅れた国と報告されています。

そのため「ジェンダー平等」が叫ばれるのも理解できます。

ジェンダーは生物学的な男女と違い社会的・文化的に作られる性差の事で、性別役割分業にとらわれない生き方を表現したものだそうです。

それぞれの国が男女の格差をなくすこともSDGSの目標に入っています。ポイントは、人間として生活できる権利の実現、そして豊か地球環境を守る努力をすることだと思います。

身近なところから、便利で使い捨てする物は控え、物を大切にする生活を日々考えていきたいものです。

3丁目　薄井百子

12月休日議会 一般質問を傍聴

12月14日（土）一般質問が行われました。なるべく多くの町民が傍聴できるようにと、年1回休日に開かれています。

今回は町外からの傍聴者もありましたが、残念ながらいつもより少ないように見受けられました。

19号台風による千曲川流域の大災害の後だったので、減災対策、避難所の運営、暖房、2階以上の施設の必要性、地域防災力の充実など複数議員の質問が相次ぎました。

子育て問題では、服部議員が以前から要望していた病児保育の実施について、町長から「大北広域連合で予算化する、来年度中に実施することになった」と答弁がありました。ようやく実現となりました。

また学校給食の食材への残留農薬（除草剤グリホザート）の問題、地域産野菜の生産体制、食育の問題、農業振興後継者の問題、ハーブセンター運営などについて、積極的な対応、施策を求める質問が出されました

渋田見　太田勍

ユーチューブで聴きま

「休日議会」といっても役所の休日であって土曜日議会でした。

土曜日はイベントが多いので次回は本当の休日でお願いします。今回は災害対策に関心がありました。

避難場所や避難準備対策の重要性が出され、今後の防災訓練に活かしていただきたいと思いました。

ハザードマップについては見るだけではわからないところがあるため、各自主防災会（自治会）単位での説明会を望みます。様々な質問項目で今後の課題がわかりました。

病児保育も来年の早い段階で市立大町病院敷地内での設置に取り組むとの返答がありました。

急な発熱で保護者が直ぐに休めなかったり、症状は回復したものの休園の必要がある場合など、とても助かるのではないかと思います。

また「交流センターかえで」のスロープや、外周囲のクローバーの植え込みなどについて改善要望も出されました。今後、議会での質問が活かされることを希望します。

50歳女性

読者の声

読者の皆さまから様々な声をお聞きしましたので掲載します。

○「交流センターかえで」の広場には遊具はできませんか。

いままでの小さい公園にあった遊具が安全性のため撤去されました。幼児の遊具あそびの場所がありません。屋根付きの椅子も欲しいですね。外で遊ばせたいです。

○ハザードマップの認識が不十分だったことを反省している。台風19号の被害をみて他人ごとではないと痛感した。

マップの正確性を知り、地域ごとの説明をうけたいと思った。

お誘い　ファンク　総会と新年会

ファンクラブ主催の「総会と新年会」を次の日程で行いますので、お誘いあって御出席ください。

日時　2月9日（日）午前10時から
場所　多目的研修センター（林中）
会費　800円
議題
・前年の活動報告と会計報告の承認
・2020年の活動方針と予算の承認

総会に引き続き、新年会を行います。歌やゲームなど楽しい企画をお楽しみください。手作りの料理もご用意します。

お申し込みは議員、ファンクラブ役員までお願いします。

○カラオケ同好会から「新年カラオケ会」のお知らせ

日時　1月4日
　　午後7時～9時
場所　3丁目「円」
会費　ソフトドリンク付
　　きで千円

大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。